

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】※…現地通貨ベース

		終値	9月23日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,907.81	-0.33%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,582.34	1.59%
パキスタン	カラチ 全株指数	28,275.07	4.13%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	4,723.73	1.25%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	9月23日比
インド	インドルピー	1.5430	1.85%
スリランカ	スリランカルピー	0.7001	1.39%
パキスタン	パキスタンルピー	0.9820	1.97%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3133	1.83%

(出所：ブルームバーグ)

【各国の市況・トピックス】

【インド：新総裁、初回会合で0.25%の利下げ】

インド株式市場は、地政学リスクの高まりやインド準備銀行(中央銀行)の利下げによって値動きの激しい展開となりました。インド軍は、9月28日未明にカシミール地方のパキスタン領域を攻撃した、と発表しました。パキスタンとの緊張が高まったことを背景に、29日には株式・債券・通貨が大幅安になるなど、金融市場にも悪影響を及ぼしています。また、11月にパキスタンで開催予定だった第19回南アジア地域協力連合(SAARC)首脳会議の延期が決定されました。10月4日、インド準備銀行は政策金利を6.50%から6.25%へ引き下げました。市場の評価が高かったラジャン前総裁を引き継いだパテル新総裁が、初会合で成長を支える姿勢を示しました。インド株式市場は利下げを好感しています。

【スリランカ：観光業が成長セクターに】

スリランカ観光開発局は、1-9月の同国訪問者数が前年同期比+14.6%と順調な伸びを示していると発表しました。観光業による経済効果は35億ドルと見込まれており、同国の一大産業として確立しそうです。日本からの訪問者数も+10%前後と増加傾向にあり、豊かな自然や同国が進めるホテル建設プロジェクトによってさらに賑わいそうです。

【パキスタン：パキスタン証券取引所、海外との提携を模索】

パキスタン株式市場では、カラチ全株指数は10月7日に終値ベースで史上最高値となる28,275.07ポイントまで上昇しました。インフラ事業の受注増などを背景にした好調な企業業績が株価を押し上げました。また、9月29日にはアジアインフラ投資銀行(AIIB)と世界銀行が同国の水力発電事業に3億ドルの融資を決定するなど、インフラ整備が国内企業を潤す構図は当面継続が期待できそうです。

10月2日、日本経済新聞はパキスタン証券取引所(PSX)に対し中国・上海証券取引所が40%の出資提案を行なっていると報じました。また、現地報道によれば米NASDAQも同取引所への出資検討のため視察に訪れたとの事です。海外の取引所と提携することで認知度が高まれば、投資家の裾野の拡大が期待されます。

【バングラデシュ：ADB、融資額を拡大】

9月29日、アジア開発銀行(ADB)はバングラデシュに対し、2016-2020年の5年間で総額80億ドルの融資を行う方針を発表しました。2011-2015年には総額50億ドルの融資を行っていますが、融資額を1.6倍へ拡大し、持続的な成長を支えていく姿勢を示しています。うち、15億ドルは大陸鉄道計画へ配分するとしており、同国内の交通網整備に留まらず近隣諸国とも鉄道網をつなぐことで、ヒト・モノの域内流通を活性化させる考えです。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2015年10月1日～2016年10月7日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—



—スリランカー—



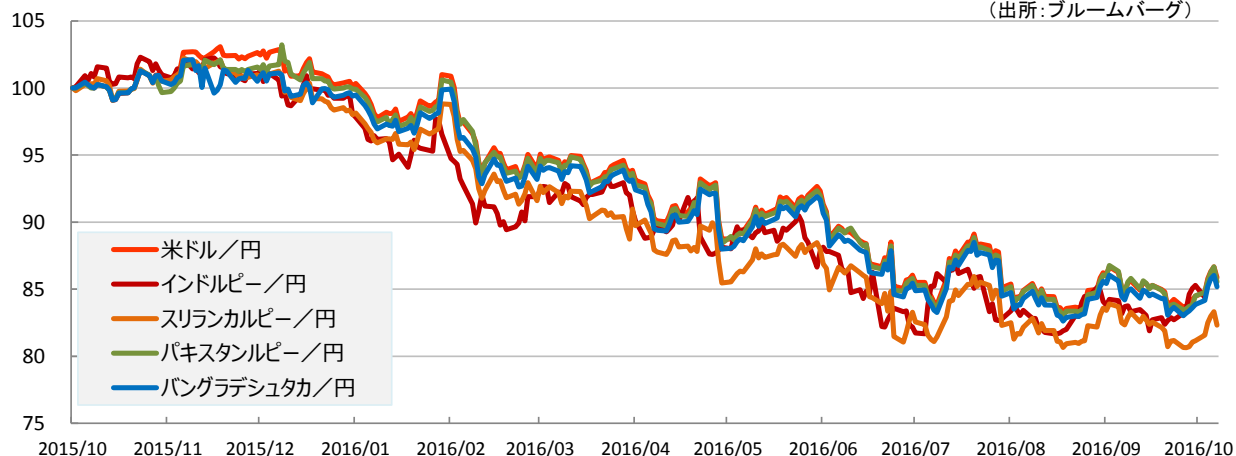
—パキスタン—



—バングラデシュ—

【為替の値動き】〔期間：2015年10月1日(基準日)～2016年10月7日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。